

日時 : 2009年7月17日(金) AM 13:00 ~ PM 4:45
場所 : 塗料報知新聞社 会議室
出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、小泉氏(小泉塗装工業所)、早川氏、広瀬氏(第一塗装工業)、
松本氏、(東和酵素)、小林氏(オーウエル)、杉山氏(アネスト岩田)、澤居氏(桂精機)、
島田(旭サナック)
アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
オブザーバー:神田氏(日本工塗連)、平野氏(CEMA)
事務局:有馬弘純氏(塗料報知新聞社) 13名 敬称略

第13回分科会(6/12開催)はセミナー発表準備より、議事録はありません。

***** 議 題 *****

1. 第6回セミナー実行委員会反省会報告(CEMA 平野氏)
下記内容についてCEMA 平野氏より報告及び依頼がされた。
結果については第6回セミナー実行委員会議事録参照。
 - (1) 事務局運営
 - ① 第1回VOC対策セミナー収支報告について
 - ② 同、収支残高の処置について
 - ③ 「工業塗装高度化協議会」の銀行口座の新設について
 - ④ 規約(内規)に関する調整について
 - ⑤ 協議会英字標記、ロゴについて
 - ⑥ セミナー参加者名簿の扱いについて
 - (2) 今後の活動方針、方向性
 - ① 行政、他工業会等へのアプローチ(パウダー協、日塗工等)について
 - ② 新分科会設置の検討について
案)労働安全、技能、産廃、塗料、機器、ゴミ・ブツ…
 - ③ 環境技術分科会活動普及について・VOC対策セミナーの地域開催(中部版、関西版…)
案)展示会出展(SURTECH2009、エコプロダクツ展…)

2. セミナー開催後の意見交換

(1) 参加者・関係者

- ① 申込者 183名(リスト総人数)、当日欠席者 12名、飛び込み参加者 2名
- ② 来賓・招待 5名、報道・新聞 6名、スタッフ 19名
- ③ 招待、来賓含むセミナー参加者は178名 スタッフを含むと総勢197名

(2) アンケート結果

東和酵素松本氏よりアンケートの集計結果が報告された。

- ・89.7%の回収率(149/166名:スタッフ、両会長、来賓、報道、飛び込み者など省く)
- ・セミナー資料はCEMAのホームページにアップしたので、問合せの場合ホームページを見てもらうようにする。尚、窪井氏発表の環境省数値データについては、そのまま掲載とする。
- ・集計値のミスがあり、修正されたものを配布予定。

初めての取組みに対し、セミナー内容について多くの参加者が良いと答えており次回への励みになった。次回やその後の地方開催について参考にすることで全員意見が一致した。

3. 今後の活動

(1) 分科会会長・分科会副会長

任期を一年でスタートしたので、今回見直しを図った結果、全員一致が下記の通り決定した。

- ・分科会長：島田が継続。
 - ・分科会副会長：窪井氏が継続。
- なお、セミナー実行委員会も同様。

(2) メンバー

① 現在のメンバー

- ・変更無し。

② 参加メンバー増員

今後の活動を進化させるためにも多くの塗装工場殿の積極的な参加が必要。

- ・東京連合、埼玉連合、神奈川連合にて、参加依頼を打診して頂くようお願いした。

③ 他団体の積極的な参加促進

- ・塗料的な観点での取組みが今後必要となるので、塗料メーカーの参加を推進させる。
- ・各工塗連連合にて塗料紹介などを中心に分科会への参加を積極的に打診して頂くこととした。
- ・日塗工など団体へは平野氏よりアプローチを随時行って頂くこととした。

(3) 今後の活動

① 現在までの活動の継続

- ・塗料・洗浄シンナー削減：第一塗装工業殿を中心に計画をお願いした。(広瀬氏)

・スラッジのリサイクル

攪拌棒の成型に向けて活動する。

※成型品の硬度を上げるため、スラッジ添加量30%UPを検討する。(松本氏→楽天商事へ)

※今回の活動結果とセミナー結果、及び今後の予定をペレット成型に協力された新潟成型組合
有限会社ミッド(MID)及び有正氏へ報告する。(島田)

乾燥工程など成型化への課題を一つずつ解決していく。

- スラッジの量を確保するためにも、多くの工塗連会員殿の協力が必要。
分科会への参加を増やして、協力を得るように進める。

・各種塗料の塗装について(ハイソリッド・水性含む)

粉体の塗装の取組みを今後加えていく。

② 工塗連会員の参加

上記(2)②参加メンバー増員の第一歩として、小泉氏より埼玉連合から数社の参加申し入れを受け、次回分科会に参加をお願いした。

③ 新しい取組み

下記テーマ案が意見として話された。

- ・塗装の安全作業
- ・塗装作業環境の改善(脱3K)
- ・ゴミ、ブツ対策

新しく参加された工塗連会員企業を交え、テーマを絞り込んでいくこととした。

(4) 地方開催

① セミナー実行委員(分科会)としての意向

- ・費用をかけないように進める。セミナー実行委員としては発表者4名の出張に抑える。
- ・出張費を充てるため、参加費に盛り込むように計らう。
- ・準備軽減より、発表内容を同じとする。
- ・会場手配、展示やカタログ、司会などは主催側に委ねる。

② 具体的な活動

- ・関西は集客力、開催母体に疑問があるため、先ず中部を打診し、普及活動に協力する。
- ・窪井氏が川西塗装(愛知工塗連 理事)へ訪問予定があり、このときに中部地方セミナーとしての意向、当委員会の意向を整合する。その結果をメールにて関係者へ配信する。(窪井氏)
- ・愛知工塗連の内容を受け、当委員会関係者とメールにて調整を今後行う。

4. 次回予定(VOC対策セミナー実行委員会、環境技術分科会)

第15回 環境技術分科会

2009年8月21日(金) 午後13時～塗料報知新聞社会議室

<予定議題>

- ・中部地方開催セミナー
- ・新しいメンバー(工塗連)紹介
- ・活動テーマの意見交換
- ・現在進行中テーマ(洗浄、スラッジなど)の確認、報告

————— 以 上 —————